



令和元年、子どもたちに向けて



和市長 榊原純夫

5月1日から新元号「令和」がスタートし、早くも2か月が過ぎました。これから始まる令和の時代を担う子どもたちに向けた最近の本市の取り組みをご紹介します。

小中学校等へのエアコン設置

今年の夏も、昨年と同様に猛暑となるのでしょうか。半田市では市内全ての小中学校の普通学級と特別支援学級の教室にエアコンを設置し、子どもたちが快適な環境の中で学ぶことができるよう昨年度から準備を進めてまいりました。そして、施工業者や学校関係者の皆様の努力のおかげで、暑さが本格化する前に設置工事を完了することができました。

エアコンに関しては、市立保

育園では既に全園に設置済みであり、市立幼稚園にも今回、全園に設置しましたので、子どもたちは学校等において暑さに苦しめられることはなくなります。次代を担う子どもたちが、厳しい暑さの中でも元気に、快適に学ぶことができるのは、保護者を始め、すべての半田市民の願いであり、喜びでもあります。

子どもたちの健やかな成長は、エアコンの設置、トイレの洋式化を始めとした施設環境整備とともに、学校における充実した指導、家庭教育の3つがすべてそろって初めて、大きな効果が期待できるものと考えております。これまでも、小中学校への支援員配置など人的支援の充実、家庭教育の啓発活動を進めていますが、今後もこれらの更なる

充実に努めてまいりますので、改めて関係者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

幼児教育・保育の無償化

社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、消費税率が10%に切り替わる令和元年10月1日を機に、幼児教育・保育の無償化が実施されます。これは、国、

県、市がそれぞれ無償化分の費用を負担して行うものです。半田市で今回新たに対象となるのは、世帯の所得にかかわらず、3歳から5歳までのすべての子どもたちの幼稚園、保育園、認定こども園に関する費用です。この件については、現在、準備を進めているところで、詳細が決まり次第、改めて皆様にご案内させていただきます。

半田市の「教育・子育て」分野における特徴としましては、市内に5つの公立高等学校と6つの公立幼稚園のほか、大学もあり、教育における選択肢が多い点が挙げられます。また、中学生までの医療費を助成したり、身近な場所で子育て世代が交流したり、子育てに関する相談ができる地域子育て支援拠点の充実を図るなどの子育て支援も行っています。

今後も、子どもや子どもを持つ親御さんにとって「暮らしやすいまちはんだ」を目指し、サービスの充実に努めてまいります。

